



  
遠野  
まごころ  
ネット

2011年6月22日現在

# 内容

## －復興支援－ 遠野まごころネットのVision

### • Vision実現のための活動組織の構築

- 遠野まごころネットは「被災者のために」が出発点。
- 「ボランティア活動は競争でもなく、自己満足でもない。」あくまでもサポーターとしての活動を意識する。
- 自由な意見を交換できる雰囲気大切にす。
- 実現に向けて“No”ではなく“Yes”という雰囲気を保つ。
- 緊急支援のネットワークから復興支援のネットワークへ。
- 縦割りの支援から繋がり支援へ。

## 時の流れと時のニーズ変化に対応する。

- 食の確保が重要だった緊急支援から、『人』としての中長期的なサポートの段階になり、ニーズが変化してきた。外に出てこれない避難者の出現
- 世間からのサポート、注目度が落ちてくると十分な支援が行き届かなくなってしまう。このまま被災の記憶を風化させてしまってはならない。
- 復旧、復興の方向性を提案する。意識付けのサポートが重要 = 里づくり

# 遠野まごころネットのVision — 復興支援 —

Vision

人と人の繋がりを持ち、人と自然、自然と産業が共存する持続可能な社会への復興をサポートする。

人と人の繋がり      自然と共存      産業復興      風化防止

短期  
(~3カ月)

「場」づくり  
・避難所や周辺住民の場づくり：  
まごころ広場

「復旧作業」  
・瓦礫撤去他復旧作業が中心

「復旧関連産業」  
・地元業者の活用  
  
「新たなネットワークの構築」

「被災を忘れない」  
・郷土芸能復活  
  
「メッセージ」を世間に伝える

中長期  
(~3年)

「郷」づくり  
・人と人の繋がりのある郷づくり  
・仮設住宅の間をつなぐ郷の存在

「自然と共存」  
・自然と共存する生活空間＝郷  
・地の木で建てる家  
・自然農業の再生

「復興方向の意識」  
・土地利用検討  
・自然農法の奨励  
・研究所の誘致  
・復興と自然を活用した観光の誘致

・慰霊行事の企画開催（年中行事化）  
・世界の理解  
・ボランティア数維持  
・情報発信

復興支援

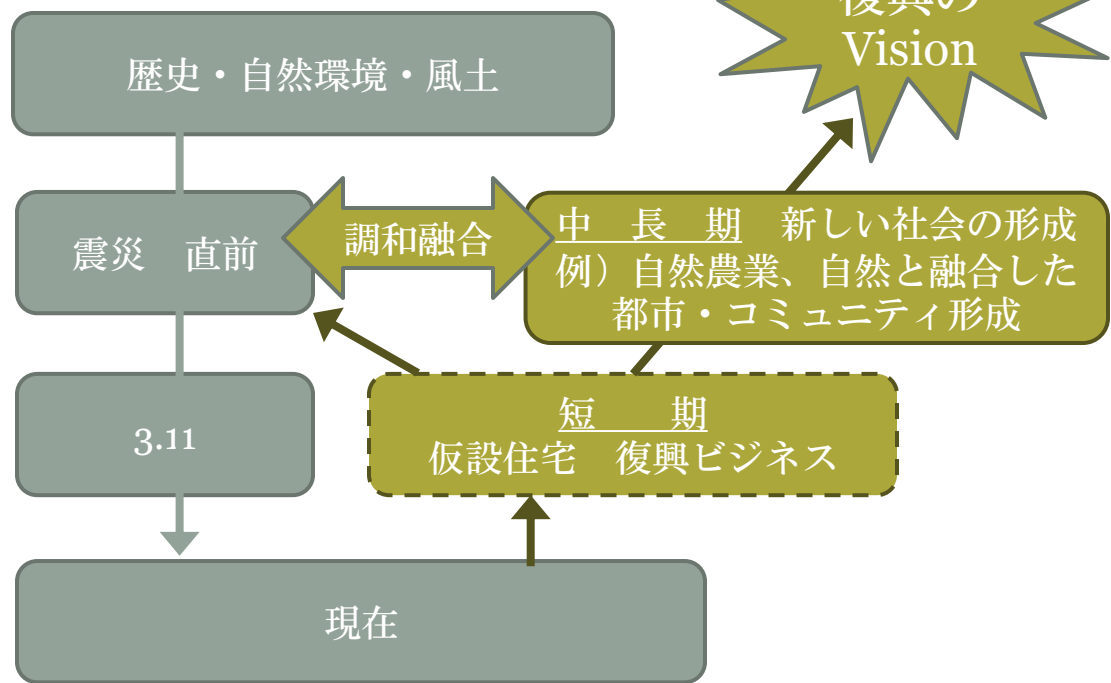
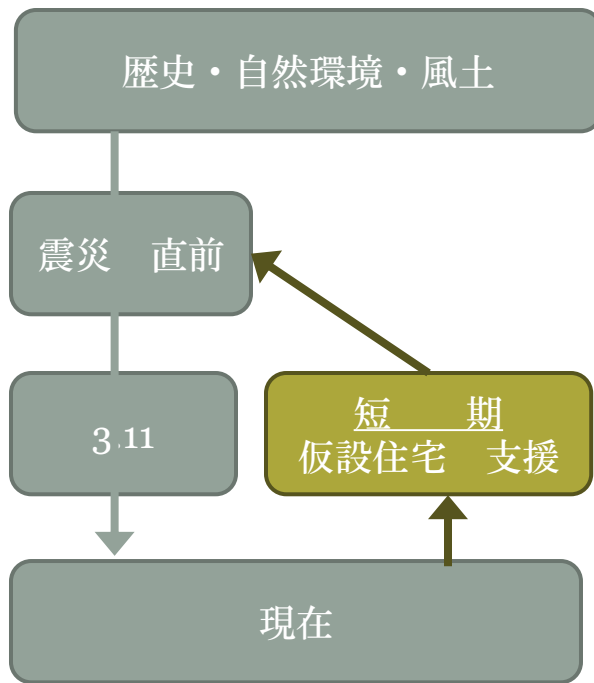
— 郷 —  
3.11直前の状態に復興するだけでなく  
風土に合った自然回帰の意識づけ

復興支援のネットワーク  
緊急支援ネットワーク⇒復興支援ネットワーク  
無限連携

### 3.11直前だけに戻るのではなく 風土と共存した社会構築への意識づけのサポート

現 状

多様な方向性



官民共同

- 現状の復興Visionが不明 ⇒ 3.11の直前に戻る“復旧”となってしまう。
- 自然と融合した社会を築く機会であり、最終地点を示すVisionが必要となる。
- Visionに沿った中長期的街づくり、短期的な復興を明確にする必要がある。

## 「まごころ広場」から「まごころの郷」へ コミュニティの場＋社会を形成する里へと進化する。

### 目的

- 被災者が集まり交流できる『場』から、自然と共存した会基盤である『郷』へ変化し仮設後の生活スタイルの意識付けをサポートする。
- 弱者救済

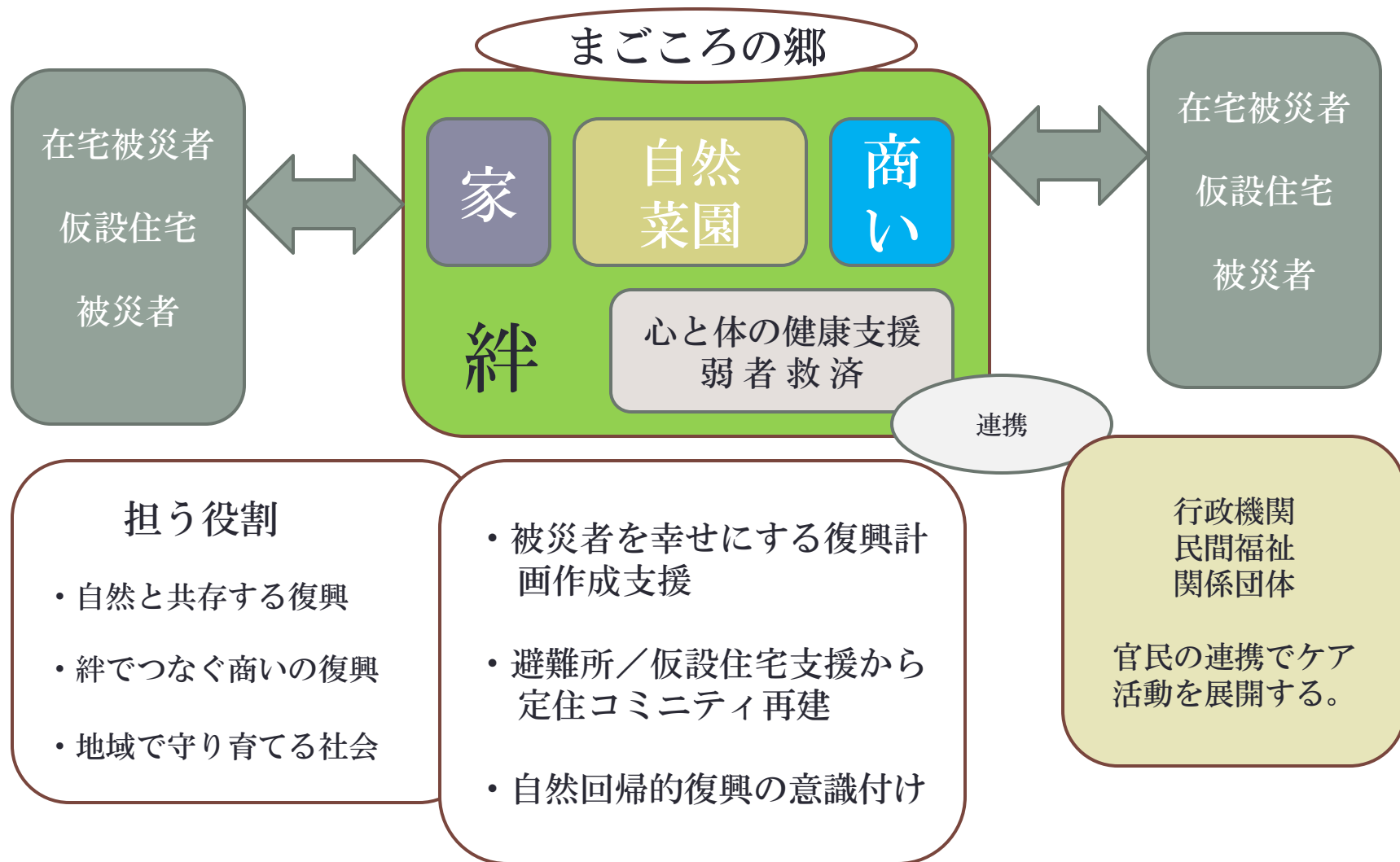
### 実施内容

- 地元の木材を利用した住宅建築
- 農林水産業再生（自然農法）
- 研究者、研究施設、観光客誘致
- 自然回帰型イベントの企画運営  
馬搬、自然栽培、趣味
- 雇用創出の実践
- 弱者救済
- 対話のある里づくり



自然と共存した「郷」の空間によって  
仮設後の自分の生活空間のイメージが  
できる。（どんな方向へ復興するか）

## まごころの郷の意義と役割



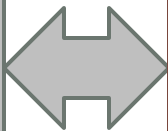
# 支援企業の募集

被災地が求める企業の役割

企業CM・競争  
支援金有効利用

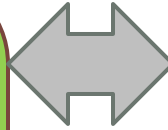
## 〇〇商事の郷

在宅  
仮設住宅  
避難者



憩いの家

生きがい創造  
自然菜園



在宅  
仮設住宅  
避難者

カフェ活動で  
再建する地域の  
— 絆 —

心と体の健康支援  
弱者救済

連携

行政機関  
民間福祉  
関係団体  
  
官民の連携でケア活  
動を展開する。

今までの役割：緊急支援は競争でも自己満足でもない

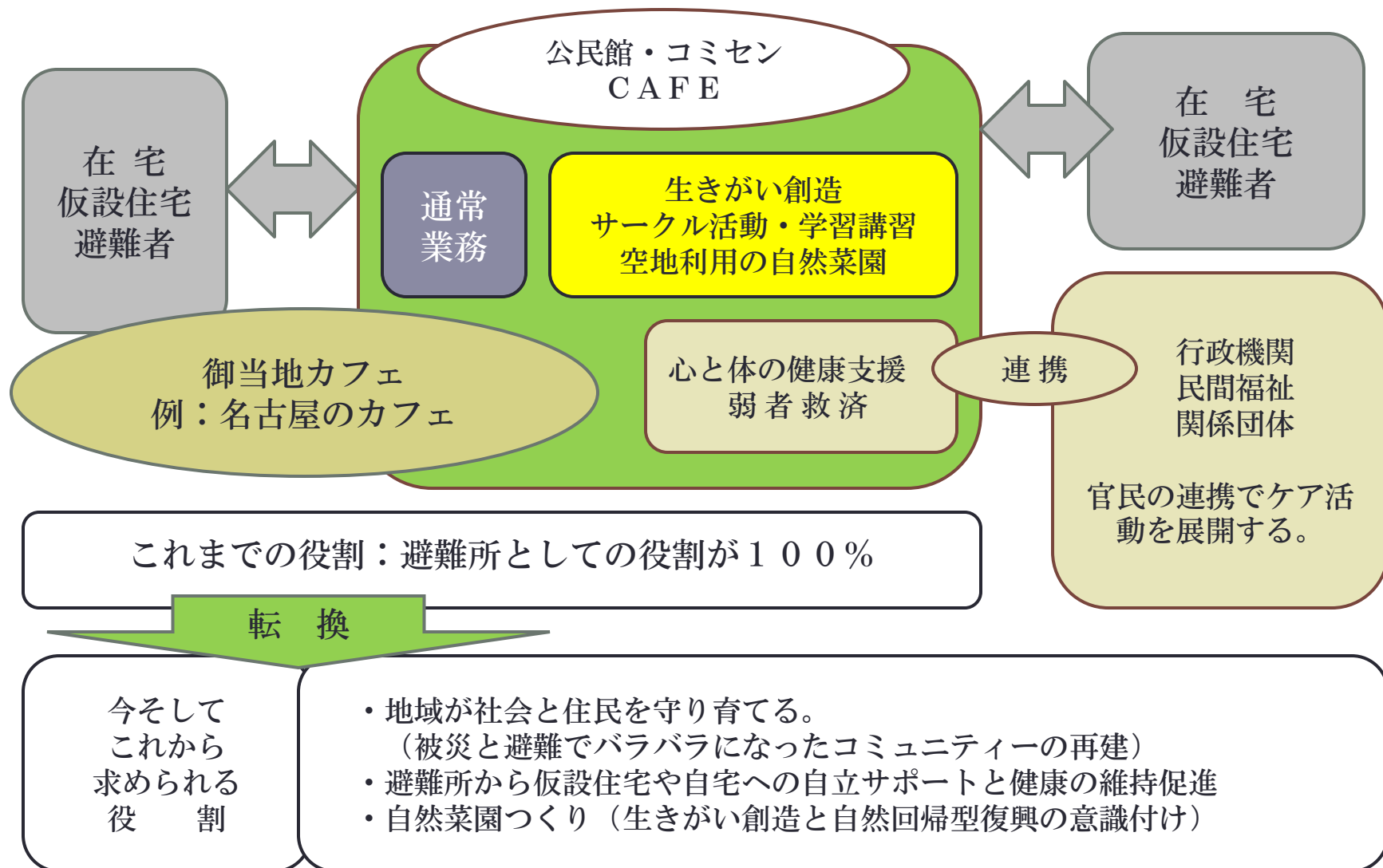
転換

- ・地域と企業が協力して住民を守り育てる。
- ・まごころの郷の役割を企業がバックアップする。
- ・商品販売と雇用創出
- ・企業は自社を宣伝できる。

東北の冬は寒い。 冬が来る前に、 多くの「郷」を	事業実行 スピード が重要
--------------------------------	---------------------



## 今求められる公民館とコミセンの役割



# 「復耕支援」 休耕農地復活支援プロジェクト

・震災以前に既に休耕していた畑

・震災によって海水を被った畑

## 自然農業の奨励

(復耕隊の編成)

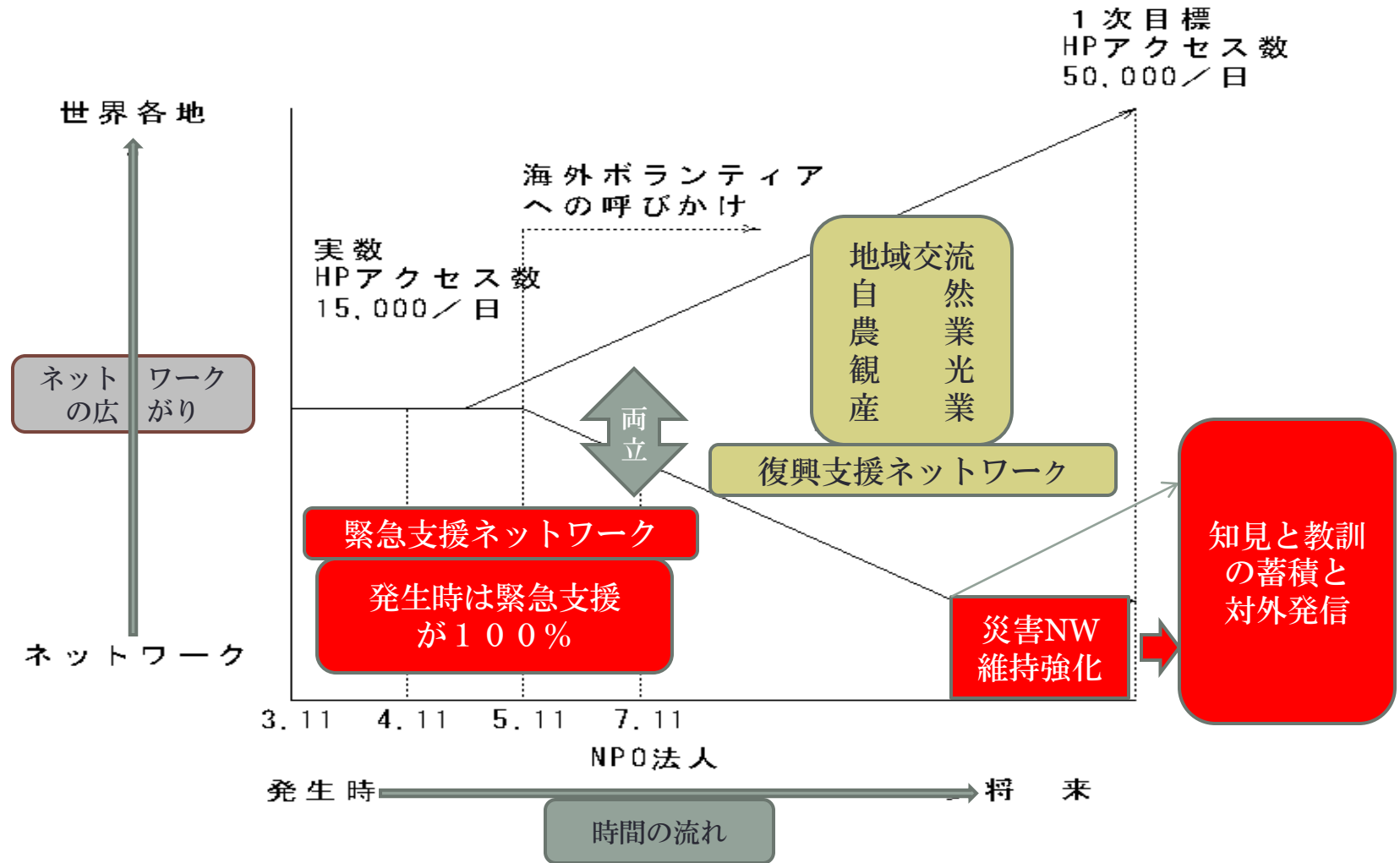
畑の状況に合せた植物（ひまわり  
マリーゴールド、トウモロコシ  
雑草他）を撒く又は畑を耕す等の  
復耕支援を行う。

まごころだね！

菜の花  
トウモロコシ  
マリーゴールド  
ひまわり

自然農法による農業振興  
土と親しむことによる生きがいつくり  
自然と融合した郷づくりの意識付け

# 緊急支援ネットワークから復興支援ネットワークへ



## 一貫したメッセージを伝え、風化を防ぐ

### 企画案：海外ボランティア募集

#### 趣旨

海外の日本に対する認識の是正と、  
将来の観光客の種まき

**Please give us  
Your support to Japan!**

Dear FOREIGN STUDENTS

海外の学生たちへ

March 11<sup>th</sup>  
Huge Earthquake and TUNAMI happened.  
Japan needs your support from all over the World.  
TONO city is the best location  
for volunteers to stay and  
support the victims on the coastal area.  
You will be connected to the affected area and  
expected to disseminate your experience  
in your country.

3・11 東日本大震災  
地球人として、日本に力を貸して欲しい。  
遠野(安全な観光名所)もボランティアの拠点は  
被災地とあなた、そして遠野との絆を結んでほしい。  
共感してほしい。  
母国に帰ったら伝えてほしい。  
あなたも、日本の今を。

Welcome to TONO-JAPAN for Volunteer Works



Tono City Social Welfare Council  
**Tono Magokoro Network**

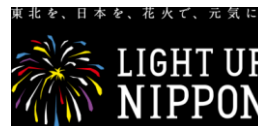
Tono Volunteer's Network for assistance to the affected areas  
1-3 Yakunibuchi, Shinawa, Mitsuizaki Town, Tono City, Iwate Pref, 028-0541, Japan Tel:0196-62-1001, Tel/Fax:0196-62-1002  
E-mail:tonomagokoro@gmail.com  
HP:<http://tonomagokoro.net/>

### 企画案：三陸 海の盆

#### 趣旨

この出来事を永遠に忘れないために  
年中行事を呼び掛ける

- 三陸全体が一つになる。
- 世界中に輪が広がる。



## 情報共有/意思決定のプロセス 復興支援のネットワーク

